

★ かわ ぐち

★ つう しん

★ 川口いきもの通信 ★

★ い 生きものたちにこんばんは

★ vol.10

★ 2022.12

★ よる 夜のいきもの観察会

7月23日、イナパーク川口で「夜のいきもの観察会」を開催しました。普段は入ることができない夜のイナパーク川口で、昼間とは違う生きものの様子を観察しました。子どもたちは懐中電灯を片手に草むらの昆虫を探したり、池の水生物を探したり、また特別な機械でアブラコウモリの声を聞きとったりもしました。中でも人気者はやはりカブトムシ。仕掛けたバナナトラップにはたくさんのカブトムシがいて、子どもたちは大興奮でした。来年はさらに広い場所での開催も予定していますので、楽しみにしてください。



はな つく ゆび
花で作った指わをプレゼントする講師の横山先生。



せつち ひかり あつ
ライトトラップを設置しました。光に集まって来る昆虫を観察する方法のひとつで、今回はカブトムシやシロテンハナムグリ、アオカミキリ、ニイニゼミなどが観察できました。



おくの きしちょう さんか
奥ノ木市長も参加しました！

よる みぬまた 夜の見沼田んぼでも

8月3日には、自然保護団体「グラウンドワーク川口」による「夜の観察会」が、見沼自然の家で行われました。こちらでもライトトラップを使って多くの生きものを観察しました。



あつ こんちゅう せつめい よしの せんせい
ライトトラップに集まった昆虫について説明する吉野先生。

よる しず しぜん なか おお い 夜は静かな自然の中で多くの生きものたちが活動しているよ。「おじゃまします」と、生きものたちに感謝の気持ちをもって観察しようね。

自然ふれあい教室



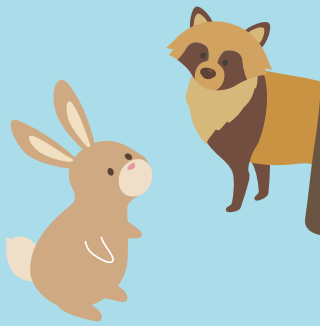
10月8日、見沼自然の家で、川口市みどり課による「自然ふれあい教室」が行われました。午前中は昆虫を採ったり、木の実を探したり、自然の中を散策しました。気温も涼しく昆虫も植物も秋の訪れを感じさせてくれました。午後は自然の材料を使って時計作りをし、子どもたちの個性あふれる作品が出来上がりました。



実は2か所も！ 川口市内の鳥獣保護区

鳥獣保護区とは、野生の鳥類やほ乳類（タヌキやノウサギなど）の生息地を守るために指定されている場所です。埼玉県で指定している鳥獣保護区は現在64か所あり、そのうち川口市内には「川口鳥獣保護区」と「旧芝川鳥獣保護区」の2か所があります。この鳥獣保護区をはじめ、川口に残された豊かな自然を大切にしていきたいと思います。

川口鳥獣保護区



旧芝川鳥獣保護区



川口市役所 自然保護対策室

TEL 048-229-6735 FAX 048-224-5304



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。